

正直家新聞

平成二十九年十二月号

こんにちは、正直家新聞です。先月は消防訓練が行われました。今回は利用者の方々にもご協力頂き、ご自身で逃げるのが困難な方の救助の訓練を行いました。自然災害が増えつつある昨今、いっような事態が起こるか分からない中で、いかにご利用者を安全に救助 出来るか。日頃の訓練が大事になってきます。



ご自身で避難が困難な方を
シートを利用して避難誘導

1階エントランスにて、
全員無事に避難完了



あの、東日本大震災の時、某テーマパークでは、当初、何万人もの来場者がいる中、一切の混乱を与えず避難誘導を行ったそうです。そのテーマパークでは、年間、実に100回以上もの避難訓練が行われているそうです。スタッフ自身も被災者でありながら、そのような迅速な対応で来場者に不安を与える事無く避難誘導を行えたのは、日頃の訓練の賜物なのでしょうね。

私たち正直家も年間の訓練回数は及ばないものの、毎回、スタッフ全員が全力で避難訓練に取り組んでおります。訓練中に笑顔はありません。実際に災害が起きたかのように、大声を出し、全力で走ります。唯一、笑顔を見せるのはご利用者に寄り添い、声をかける時です。ご利用者の前では真剣な顔もきつと不安につながってしまいます。「この人は今日は機嫌が悪いのかな？」そんな風に思ってしまう方もいるかもしれません。なので、ご利用者に寄り添うときは笑顔で対応し、少しでも安心をお届けできればと思います。消防署の方からも、「良い訓練を見させて頂きました」と、大変ありがたいお言葉を頂きました。実際に災害が起きた時は、訓練の通りにはいかないでしょう。その日の天候・ご利用者の状態・予想だにしない二次災害…様々な事が待ち受けているでしょう。だからこそ、正直家は日頃の訓練を大事にします。職員一同、一丸となって結束し、ご利用者をお守りできるよう、今後も意味のある訓練を続けて参ります！寒さが増し、乾燥してくると火災も増えてきますので、皆さんもどうぞお気を付けてください。



今年もあっという間に1年が過ぎました。

次回、正直家新聞をお送りするのは新年を迎えてからになります。少し早いですが、今年も大変お世話になりました。来年も正直家は笑いの絶えない時間を皆さまにご提供できるよう、職員一同、精一杯努めて参りたいと思います。来年も、何卒、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

